

第385回福岡佐賀有明海連合海区漁業調整委員会議事概要

1. 日 時 令和8年3月6日（金） 14：55～15：20

2. 場 所 福岡県有明海水産会館「大会議室」（柳川市三橋町高畑 271）

3. 出席者 福岡佐賀有明海連合海区漁業調整委員会 委員 10名

4. 臨席者

水産庁九州漁業調整事務所	2名
福岡県有明海区漁業調整委員会事務局	3名
福岡県農林水産部水産局漁業管理課	2名
福岡県農林水産部水産局水産振興課	2名
佐賀県海区漁業調整委員会事務局	2名
佐賀県農林水産部水産課	1名
福岡有明海漁業協同組合連合会	1名
佐賀県有明海漁業協同組合	2名

5. 議題及び議決内容

(1) 令和8年度さし網等漁業福岡佐賀相互入漁許可方針について（協議）

(説明)

福岡県漁業管理課、佐賀県水産課から資料に基づき説明。

(主な質問や意見)

特になし。

(審議結果)

両県の入漁許可方針は原案どおり承認された。

(2) 農林水産大臣管轄漁場における漁業権漁業の資源管理の状況等の報告について（報告）

(説明)

水産庁九州漁業調整事務所から漁業権漁業の資源管理の状況等について報告。

(主な質問や意見)

特になし。

(3) 農林水産大臣管轄漁場における福岡、佐賀両県の事業について（報告）

(説明)

福岡県漁業管理課から資料に基づき報告。

(主な質問や意見)

委員：福岡の方から覆砂事業と堆積物除去の事業の話がありましたけど、担当が多分違うので言いづらいかもかもしれませんが、佐賀の方ではどんなことを今、漁場整

備としてやっていますか。

佐賀県：佐賀県の方では沖合域での海底耕耘というところで、漁場改善に努めているところですが。基本的に佐賀県はシルト分というか、柔らかい海底が広範囲に広がっておりますので、そこを耕耘して、海底の一定程度の深さをかき混ぜて、海底に酸素を送り込んで、海底の表層付近の環境を改善するという取組みとなっております。

(4) その他

(説明)

佐賀県事務局から、次回委員会の開催予定について説明が行われた。